

厚労科研大西班
「放射線療法の提供体制構築に資する研究」

SDMを実現するための現状の課題と施策の考察研究
進捗報告 2023.2.1



一般社団法人
がん医療の今を共有する会

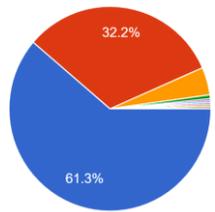
1

前立腺がんにおけるSDM実施状況について
アンケートを実施 (2022/4/27 ~ 5/17)

回答数
計321件
泌尿器科：104件
放射線治療科：216件

↓

回答より5つの課題と
それに対する提言



- 放射線治療科
- 泌尿器科
- 放射線科
- 放射線部
- 放射線科 (治療)
- 電子線治療科
- 放射線腫瘍科
- 放射線治療センター
- 総合腫瘍科



一般社団法人
がん医療の今を共有する会

2

提言 1：患者さんの希望に基づき選択肢を提示

Q. 複数の選択肢を患者さんやご家族に説明する割合 (n=317)

100%実施が6割
75~99%が2割



Q. 患者へ治療方法の第一選択肢を提示する際の方針 (n=322)

EBM的アプローチが多い
SDM的アプローチは少なめ




一般社団法人
がん医療の今を共有する会

3

前立腺がん治療選択のSDM 課題と提言

- ① 複数選択肢は提示できているが、**患者自身の希望に基づいて選択肢を提示する取り組みが必要**
 - 患者希望に基づいて選択肢を提示するプロセスの定着を、病院全体で意識改革
 - 一病棟上層部より徹底した発信と周知による地道な意識改革
- ② 集学的がん医療実施にあたり、**医療従事者間で更なる連携や情報共有が必要**
 - 他科専門医との情報共有の促進を図るために、電子カルテによる記録の遵守
 - カンファレンス参加要請の記載や「報告書管理体制加算」の応用
- ③ **説明行為に対する診療報酬評価が無いと体制の充実が困難**
 - 患者への説明の努力に対する診療報酬評価
 - 「腎代替療法指導管理料」に依った管理料の新設や、「がん患者指導管理料」の分岐もしくは算定回数増など
- ④ 医師不足を補うために**多職種へのタスクシフト**
 - がん看護外来の活用によって看護師による説明補助の充実を図る
 - 施設基準等で看護師の専従体制を推進し、充実を図る
 - がん患者指導管理料に主科側の看護師における専従配置を規定
- ⑤ 患者と医療従事者間の**情報ギャップ**
 - ツールの充実やオンライン化などで伝わりやすさを改善し、患者リテラシー向上を図る
 - 最新情報が反映された説明資料を開発学会間で協議して作成



一般社団法人
がん医療の今を共有する会

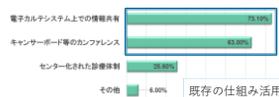
4

提言 2：電子カルテによる記録の遵守

② 集学的がん医療実施にあたり、医療従事者間で更なる連携や情報共有が必要

- 他科専門医との情報共有の促進を図るために、電子カルテによる記録の遵守
- カンファレンス参加要請の記載や「報告書管理体制加算」の応用

- 前立腺がんにおけるカンサーボードを定期的に実施する頻度 (n=321)
- 集学的がん医療推進において有効な取り組み (n=316)

既存の仕組み活用が多かった



一般社団法人
がん医療の今を共有する会

5

電子カルテシステム上での情報共有 75.10%

カンサーボード等のカンファレンス 93.90%

センター化された診療体制 29.80%

その他 6.90%

既存の仕組み活用が多かった



一般社団法人
がん医療の今を共有する会

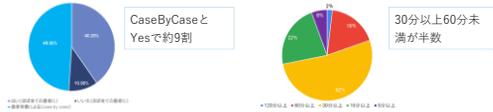
6

提言3：患者への説明の労力に対する診療報酬評価

③ 説明行為に対する診療報酬評価が無いと体制の充実が困難

- 患者への説明の労力に対する診療報酬評価
 - 「腎代替療法指導管理料」に就いた管理料の新設や、「がん患者指導管理料」の分岐もしくは算定回数増など

・ 説明に対する診療報酬評価が必要か？(n=321)
 ・ 治療方法決定までに治療説明で費やしている時間 (n=320)



一般社団法人
がん医療の今を共有する会

7

提言4：説明補助の看護師の専従配置を診療報酬上で規定

④ 医師不足を補うために多職種へのタスクシフト

- がん看護外来の活用によって看護師による説明補助の充実を図る
- 施設基準等で看護師の専従体制を推進し、充実を図る
 - がん患者指導管理料に主科側の看護師における専従配置を規定

・ 医師が治療方針を説明する際、看護師が説明補助を十分に行えているか(n=323)



一般社団法人
がん医療の今を共有する会

8

提言5：関連学会協働による患者説明資料の作成

⑤ 患者と医療従事者間の情報ギャップ

- ツールの充実やオンライン化などで伝わりやすさを改善し、患者リテラシー向上を図る
 - 最新情報が反映された説明資料を関連学会間で協働して作成

・ 治療方法説明に用いているツール (n=317)



一般社団法人
がん医療の今を共有する会

9